

2026 アルスノーヴァこけら落とし

「mue」と呼ぶことを手がかりに、アルスノーヴァの上演を支える小道具であり什器でもある「箱」をみんなで制作します。ヤードやフィートのように王の特権的身体を基準とする既製規格に背を向け、参加者それぞれの手や腕を測り、その場にたまたま集まった身体を単位に寸法を決定。議論ではなく制作を通して、身体と社会、移動と居場所の関係を立ち上げます。完成品はアルスノーヴァで可動式インフレーションとして実際に使用されます。■



東京大学アルスノーヴァ

▲スペイン語などで家具を「動かせるもの (mue)」



(要予約)

定員 15名

おハロウズ

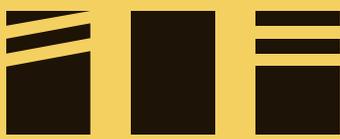
3 /

28

(土) 第一回 11:00—
第二回 14:00—

東京大学駒場地区キャンパス
目黒区駒場3-8-1 京王井の頭線 駒場東大前駅から徒歩

参加無料 (雨天はお楽しみ)
主催 東京大学アルスノーヴァ



東京大学アルスノーヴァ

2026秋、東京大学にアートスクール開講!

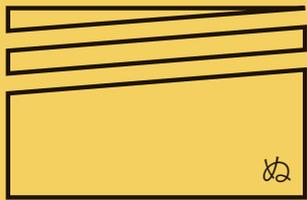
アルスノーヴァのロゴ

このロゴは、〈術〉の字をモチーフにした横並びのタイルで構成されます。タイルに決まった縦横比がないことで、無数の〈術〉が現れます。

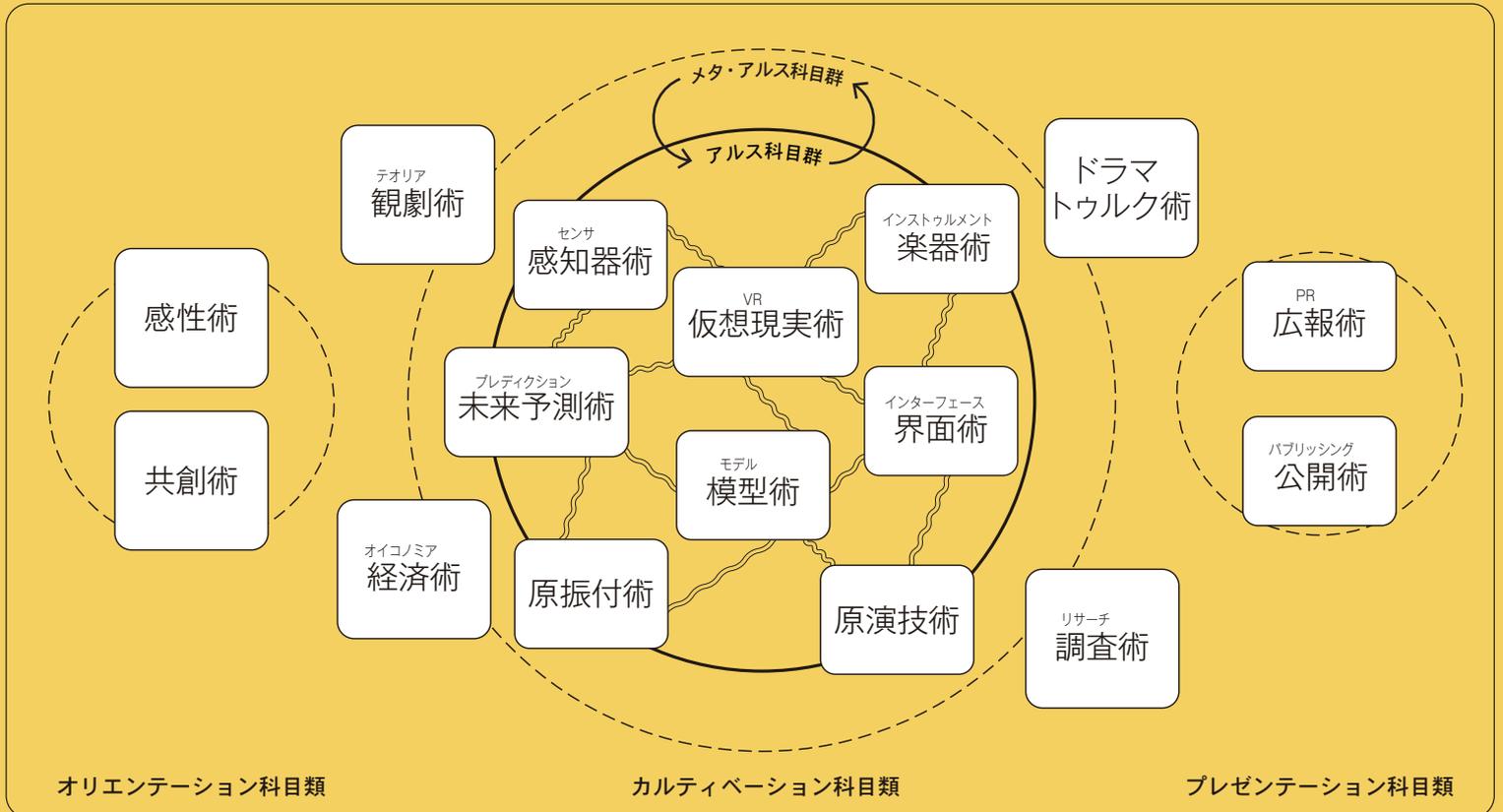


アルスノーヴァは、東京大学を舞台に上演される新しい実験的なアートスクールです。ここでは「アート」を単一の分野として扱うのではなく、ラテン語の「アルス」という語源に遡り、つくること・感知すること・考えることのための「術」の総体として捉え直します。

くわしくは
arsnova.tokyo



いろいろな術=科目



4月以降、各科目を覗き見るプレイベントを開催します